

法面植生工事後の植生状況確認における留意事項

播種された植生工が成果物としての植物群落の様相を整えるのに、草本類で1～2年程度、木本類で3～5年程度とされるが、それを短期間で見極めるには非常に困難がある。

そのため、工事引渡し後において必要な措置を講ずることも想定されるので、下記の事項に留意して法面植生工事後の植生状況を確認することとする。

1 確認方法について

植物の生育状況は、法面の向き、地層、地質、水分状態などにより初期は部分的にむらとなることもあるので、法面全体の状態からの判断を重視する。

配合した植物群すべてが発芽・生育している必要はないが、目標とする植物群落を形成する植物種が大半であることに留意し、以下の方法で確認する。

- ① 確認時期は施工時期にもよるが、施工後60日を一応の目安とする。
冬季施工の場合は5月頃とする。
- ② 植被率（法面を植物が被覆している面積率）を目視により確認し、判定が困難な場合は写真判定とする。最低植被率は別表—1を参考にする。
- ③ 成立本数の確認は、25cm×25cmのコドラートで測定したものを1㎡当りに換算するが、別表—2，3で簡便化することもできる。

2 確認後における措置について

- ① 担当者（監督員）は植生状況等を請負業者とともに確認し、発芽不良または枯死した場合は請負者にその原因を調査させ、その結果を報告させることとする。
- ② 調査結果に基づき、監督員は請負者に対し必要な作業を再施工させ、その結果を報告させることとする。

別表1 成立本数および植被率の確認の目安と時期

| 工種 | 使用植物の 組み合わせ | 平均成立本数の範囲 (本/m ²) | | | 最低植被率 (%) | 確認時期 | |
|---------------------------|----------------------|----------------------------------|-------|-----|--------------|------------|------|
| | | 外来草本 | 在来草本 | 木本 | | 春期施工 | 秋期施工 |
| 種子 散布工 | 外来草本 | 1,000前後 | | | 80 | 施工後 60日 | 翌年5月 |
| | 外来草本+ 在来草本 | 300~1000 | 100前後 | | 70 | 〃 | 〃 |
| 植生 シート工 (むしろ張 工) | 外来草本 | 1,000前後 | | | 80 | 施工後 60日 | 翌年5月 |
| | 外来草本+ 在来草本 | 300~1000 | 100前後 | | 70 | 〃 | 〃 |
| | 外来草本+ 在来草本+ 木本 | 200~600 | 100前後 | 3程度 | 50 | 〃 | |
| 客土種子 吹付工 | 外来草本 | 1,000前後 | | | 80 | 施工後 60日 | 翌年5月 |
| | 外来草本+ 在来草本 | 200~800 | 100前後 | | 60 | 〃 | 〃 |
| | 外来草本+ 在来草本+ 木本 | 100~600 | 100前後 | 3程度 | 50 | 〃 | |
| 厚層基材 吹付工 | 外来草本 | 600前後 | | | 80 | 施工後 60日 | 翌年5月 |
| | 外来草本+ 在来草本 | 100~600 | 100前後 | | 60 | 〃 | 〃 |
| | 外来草本+ 在来草本+ 木本 | 100~300 | 100前後 | 3程度 | 50 | 〃 | |

注) 高寒冷地の秋期施工においては、翌年6月以降に確認を行うことができる。

農業土木業協会編「のり面保護工」(設計・施工の手引き)を引用

別表2 草本類の判定の目安

| | |
|----|--|
| 優 | のり面から10m程度離れると、のり面全体が「緑」に見える |
| 良 | のり面から10m程度離れると、だいたい「緑」に見え、ところどころに裸地がある。 |
| 可 | 1㎡当たり10本程度の発芽はあるが、生育が遅い。この場合は1～2ヵ月様子を見る。 |
| 不可 | 生育基盤が流亡して、植物の成立の見込みがない。この場合は再施工。 |

農業土木業協会編「のり面保護工」（設計・施工の手引き）を引用

別表3 木本類混播の判定の目安

| | |
|----|--|
| 優 | のり面全体に基盤が見える程度に植物があり、木本類が平均に確認できる。 |
| 良 | のり面全体が植物に覆われており、まばらに木本類が確認できる。 |
| 可 | のり面全体が植物に覆われており、草種の中に木本類の発芽は見られる。この場合、翌年の春まで様子を見る。 のり面が裸地状態に見えるが、ところどころに発芽が見られる。この場合は、1～2ヶ月様子を見る。 |
| 不可 | 生育基盤が流亡して、植物の成立の見込みがない。この場合は再施工。 |

農業土木業協会編「のり面保護工」（設計・施工の手引き）を引用

別表-4

生育判定調査表

| | | | |
|------------------|-------|------------------|----------------|
| 工 事 名 | | | |
| 工 事 場 所 | | | |
| 請 負 者 名 | | 調査者(現場代理人) | 印 |
| 調 査 年 月 日 | 年 月 日 | 施 工 後 経 過 年 月 | 年 月 |
| 施 工 年 月 | 年 月 | 工 法 名 工 事 数 量 | (t= cm) |
| 全体植被率(%) | % | | |
| 生 育 判 定 | 評 価 | 植生の状態 | |
| | 優 ・ 良 | | |
| 生育状況写真 | | | |
| 全景 | | | |
| | | | |

上記により植生状況を確認しました。

監督員(立会者)職氏名

印

別表-5

生育判定調査表

| | | | |
|------------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| 工 事 名 | | | |
| 工 事 場 所 | | | |
| 請 負 者 名 | | 調査者(現場代理人) | 印 |
| 調 査 年 月 日 | 年 月 日 | 施 工 後 経 過 年 月 | 年 月 |
| 施 工 年 月 | 年 月 | 工 法 名 工 事 数 量 | (t= cm) |
| 方形枠(コドラート)No. | No, | | |
| 全体植被率(%) | % | | |
| 生 育 判 定 | 評 価 | 植生の状態 | |
| | 可 ・ 不可 | | |
| 原因究明を図る資料として実施したコドラート調査内容を記載 | | | |
| 種 類 | | 草本類の成立本数 (本/m2) | 木本類の成立本数 (本/m2) |
| 導 入 植 物 | 草 本 類 | 1 | / |
| | | 2 | |
| | | 3 | |
| | | 4 | |
| | | 5 | |
| | | 6 | |
| | | 7 | |
| | | 8 | |
| | | 9 | |
| | | 10 | |
| | 木 本 類 | 1 | |
| | | 2 | |
| | | 3 | |
| | | 4 | |
| | | 5 | |
| | | 6 | |
| | | 7 | |
| | | 8 | |
| | | 9 | |
| | | 10 | |
| 調 査 結 果 | 生育状態・侵入植物などのコメント | | |
| | | | |
| | 生育基盤の侵食・流亡などのコメント | | |
| | 上記に対して講じた措置の内容 | | |

上記により植生状況を確認しました。

監督員(立会者)職氏名:

印

別表-5
生育判定写真

(整理NO,)

全景写真

コドラート写真

別表－5

生育判定写真

(整理NO,)

その他(生育基盤の流亡状況等)